

「みてござる」

こんな言葉があります。「みてござる」。「みていらっしゃるよ」という意味です。

先日、知り合いの家に行ったとき、そのお家の部屋に、「みてござる」という額が飾ってありました。先生が小さい頃、聞いた話を思い出しました。心に残っていたので、皆さんにも紹介します。

たとえば、下駄箱から誰かの靴が落ちていたので戻しておく、その場に誰もいなくても皆さんがよいことをしたら、きっと「みてござる」。逆に、誰もいないからといって、ゴミをその辺にポイ捨てをする、それも「みてござる」。友達とけんかをしてしまって悲しい気持ちになっても、きっと「みてござる」。

よいことも悪いことも、悲しいことも、全部です。

普段、皆さんの周りには、家族だったり、友達だったり、近所の人だったり、誰か彼かがいますね。でも、時には、自分一人になるときがあります。そんなときにも、たとえ人でなくても、道に咲いている花だったり、枝にとまっている小鳥であったりと、いろいろな物が皆さんの様子を見ています。昼は太陽が、夜はお月様もです。

きっと、誰かが皆さんを見守ってくれています。一人ではありません。「みてござる」、この言葉を覚えておいてください。